


畱

畱はで、“りっぱな酒どつくり”の形を象った字です。部首としては“りっぱな財産”の意味に使われることが多いようです。音はフク。

富は、畱と家(宀)との合字です。りっぱな酒器のあるような家は裕福な家にきまっていますので、畱と宀とで“とみ”を表わしました。音は畱^{フク}ですが、短かくフと発音します。

福は、畱と神(ネ)との合字です。“神様から授けられたとみ”という意味の字です。目に見える物質的な財産に対して、目に見えない精神的な財産を言います。目に見えない神の授ける財産は、やはり、目に見えないわけです。幸福。福祉(祉は、神が止まるの意味で幸いが舞い^{おり}下ることです)。

副は、財産(畱)を二つに分(刂)けるという意味を表わしています。刂は刀の変化した形で、部首としては多く“切る”という意味に使われます。副の本字は「𠂔」で、沢山ある財産を二つに分けて、半分しかないものとして使い、片方は万一に備えておく、副は、その“ひかえ”という意味を表わしている字なのです。だから、「副会長」というのは、会長のひかえであって、会長に万一があった場合に備えておくというのが本義です。後には「副忒」という

ように、“次”“二番め”という使い方も生まれましたが、本来は、そういう意味の字ではなく、どこまでも万一に備える“予備”という意味の字です。ですから、副会長には副会長としての特別の職務はないのが本当です。「副本」は本来の用法ですが「副読本」はそうではありません。

幅は、巾(布)^{ぬの}と畱とで“たつぷりと豊かな布”という意味を表わしています。つまり、“はば”の広い布という意味です。タオルなどでも安いものは幅がありません。幅は、“はばがある布”が本義で、今は単に“はば”という意味に使います。幅員。

輻は、“ぜいたくな車”という意味の字で、車輪が木を輪切りにして作ったものではなくて、のような車輪を備えつけた車を指しています。今はこの車輪の中心と輪の周囲とを結ぶ放射線状の沢山の棒を輻(和名はや)と言うのです。この輻のある車輪を“輪”というのであって、輻のない、つまり木を輪切りにしたような板の車輪は“輜”と言って正しくは“輪”とは言わないのです。「輻射」とは、車輻が一点から四方に放射する様子をたとえて言ったことばです。太陽の熱の伝わり方を輻射熱というのはこれです。輻はわが国では“矢”と言うので、それに関係のある“射る”を使って「輻射」と言ったのです。